



アルムの丘から

第 40 号

発行日 令和3年 2月11日 編集・発行 グリーンアルム広報委員会

郵便番号: 382-0034 住所: 長野県須坂市大字仁礼7番地10 電話番号: 代表026-215-2662

グリーン訪問看護ステーション

令和2年10月から 訪問看護ステーションを再開いたしました!

今までクリニックニレイで提供していた訪問看護サービスより充実したサービスを提供いたします。
どうぞよろしくお願いいたします。

訪問看護ってどんなサービスですか?



訪問看護とは、看護師がお宅に訪問して、そのご利用者の病気や障害に応じた看護を行うことです。健康状態の悪化防止や、回復に向けてお手伝いをします。主治医の指示を受け、病院と同じような処置をご自宅でも行います。ご自宅で最後を迎えたいという希望に沿った看護も行います。

看護には、以下のようなものがあります

健康状態の観察、病状悪化の防止、回復、療養生活の相談とアドバイス、リハビリテーション、点滴、注射などの医療処置、痛みの軽減や服薬管理、入浴サービス、緊急時の対応、主治医、ケアマネージャー、薬剤師、歯科医師との連携などです。



左から 伊藤・北村・鈴木・中山

訪問看護でどんなサービスを受けられるのか、上記でお話しさせて頂きましたが、今いちピンとこない方も多くいらっしゃると思います。そこで今回は、サービス内容を、実際に訪問しているご利用者の事例に基づいてご紹介させていただきます。

ケース 1

73才女性のご利用者。週2回、脳梗塞再発防止のための全身状態の観察とリハビリテーション、服薬管理をメインに訪問させて頂いている方です。以前は薬を飲み過ぎてしまい、ふらついたり、呂律が回らなかったりする事もありました。しかし、訪問時に配薬を工夫することで、現在はしっかりと内服が出来るようになりました。また、いつでも家族との外出や、自立した生活が続けられるように、ご自宅でのベットサイドリハビリ、歩行順練も行っています。全身の状態を観察しながら楽しくリハビリに取り組めるよう、歌を歌ったり、運動をしたり、雑談も混じえながらご利用者のペースに合わせた自立支援のお手伝いをしています。

この他にも、全身の浮腫の軽減や、脳梗塞再発を予防する為、栄養指導として食生活へのアドバイス等も行っています。緊急時の訪問対応も行っているため、24時間いつでも相談、かけつけが出来る為、安心できるとおっしゃって頂いています。

ケース 2

いつまでも自分の足で歩いて、身の回りの事を出来るだけ自分で行いたいと強く願っているご利用者です。しかし、両股関節に可動制限があって思うように動けず、足の指や足の裏へ繰り返すおの目を作ってしまう、足の痛みでも辛い思いをされています。訪問時は、適宜おの目の処置を行う他、痛みを軽減する為、温かいお湯をはったバケツに足を入れて足浴して頂いた後、両足をゆっくりとマッサージするフットケアも行っています。足を温める事で痛みも軽減されスムーズに動けるようお手伝いしています。「楽になった。気持ち良かったよ。」等あなたたかいお言葉は、私達の励みにもなっています。



訪問看護サービスを提供している様子



感染防止対策



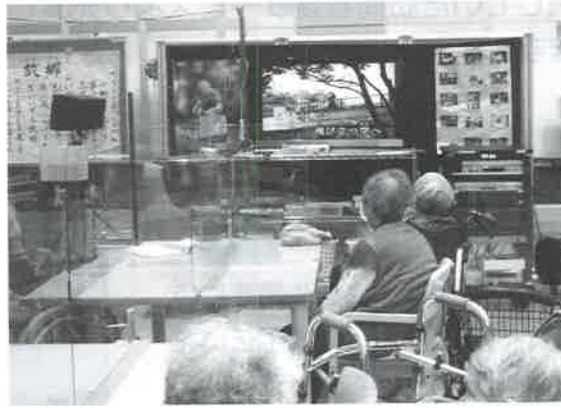
グリーンデイサービスセンターでは、新型コロナウイルスの感染症予防のため各テーブルにアクリル板を設置しております。

ご利用者さまには、マスクの着用、消毒の実施、アクリル板での仕切りなどの不便な状態で、当デイサービスセンターを利用させていただいています。これは、少しでも飛沫感染の防止に繋がればと考えて実施しております。



1月に入って新型コロナウイルスの感染が爆発的に拡大しているように思います。この感染がいつ終息するかは、専門家でも予測が難しいようです。

私たちは、少しでも早く本来の日常に戻ることを願い、ご利用者さまに安全安心してサービスを提供できるよう感染症対策に努めて参ります。



長野県から 感謝状が届きました

令和元年東日本台風(台風19号、2019年10月13日発生)災害時に、長野市で被災された施設からご利用者15名の受入れをいたしました。

このことに対して、思いもかけず長野県知事から感謝状をいただきました。

被災されたご利用者さんのために、職員一丸となり対応したことでこのような感謝状をいただくことができました。

ご利用者さまは約2か月間受入れ、その後元の施設に戻られました。

被災された施設は、まだ全面復旧とまではいっていないと聞き及んでいます。一日も早く全てが復旧されることを心から願っております。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りいたします。

月日が過ぎるのは速いもので、新型コロナウイルスの発症が確認されてから1年が経過しました。初めてニュースを目にした時は、映画や別世界での出来事のように感じていましたが、現在では全世界共通のトップニュースとなり、毎日感染状況を確認し、感染予防を行う日々が続いています。そんな中、当事業所の通所系をご利用されている方の中に、私達の職場の脇を通る度に、朝は「おはよう」、帰りは「またね」と手を振りながら毎回元気な声で挨拶をしてくださる方がいます。私達も思わず一緒に手を振りながら挨拶をしてしまいます。恒例なので、私達の職場の中では誰もがその方を知っています。その方のおかげで私達は思わず笑顔になり、ほんわかとした気持ちになります。コロナ禍で緊張している私達の心を癒してくれる一時です。

長野県内でも感染者が増加していますが、一日も早く安全なワクチンと治療薬ができることを祈りながら、今までと同様に予防対策を行いたいと思います。そして1日も早く以前の日常生活が送れるように切に願います。

(井出)